

令和3年度 研究報告

〈研究主題〉

「遊び」と「学び」をつなぐ 幼小の円滑な接続

～ななはけラボを活用した幼小の「かけはし」を目指して～



あいさつ

本園・本校では「5歳児から小学校低学年までを連続した時期として捉えた指導計画」の作成と、幼小共通の学びの部屋「ななはけラボ」を活用した実践研究を柱とし、幼児教育と小学校教育の円滑な接続をめざす研究に取り組んでおります。本研究は東京都教育委員会及び荒川区教育委員会のご支援を受けて今後も継続してまいります。つきましてはここに今年度の成果と課題を御報告いたしますので御高覧いただけましたら幸いです。

荒川区立町屋幼稚園 園長

荒川区立第七峡田小学校 校長 高田 大

荒川区立町屋幼稚園
荒川区立第七峡田小学校

○研究の成果と今後の課題

【成果】

- 「ななはけラボ」の柔軟な活用法を提案できた。その結果、5歳児から2年生までの幼児・児童がさまざまな活動で、主体的に活動に取り組む姿が見られた。
- 研究対象学年以外においても、3, 4歳児や中学年、高学年で研究保育・授業を行った。3, 4歳児は、遊びを通して学ぶ姿から、小学校の学習へのつながりを意識して幼児の遊びを見取り、小学校教諭と共有した。中学年・高学年では、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」をもとに、幼児期から小学校低学年までの育ちや学びを踏まえた授業を行った。

【課題】

- 作成した「5歳児から小学校低学年までを連続した時期として捉えた指導計画」の実践をさらに積み重ねていく。
- 近隣園を中心に、本園・本校での実践をさらに広めていき、多様な就学前施設において小学校への接続に向けた提案を行っていく必要がある。

○町屋幼稚園と第七峡田小学校の幼小接続を意識した保育や授業



自分の背と比べながら、紙コップを積む活動を楽しんでいた。

3歳児 「もっと もっと」

七夕かざりを作る中で、「さんかく」「しかく」「まる」などの形に親しんだ。



4歳児 「七夕かざりを 作ろう」



3年生 「ゴムや風の力」

これまでの経験や、生活科のおもちゃ作りの活動を生かし、理科的な見方につなげた。

様々な振り子で試行錯誤してみることを通して、その動き方の特徴について話し合った。



5年生 「ふりこの動き」